

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 感染症発生動向調査費（新型コロナウイルス分）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

健康福祉部感染症対策推進課 感染症対策係 電話番号：058-272-1111(内3352)

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 18,973 千円 （前年度予算額： 120,251 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	120,251	60,125	0	0	0	0	0	0	60,126
要求額	18,973	9,486	0	0	0	0	0	0	9,487
決定額	18,973	9,486	0	0	0	0	0	0	9,487

2 要 求 内 容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（「感染症法」）に基づき、新型コロナウイルス感染症の発生状況を把握・分析し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的とした調査事業である。新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月に感染症法上五類感染症に位置づけられたが、国通知に基づき、懸念される新たな変異株の発生動向を監視するため、県が指定する5医療機関（指定提出機関）から提出される患者検体について、保健環境研究所で行政検査（ゲノム解析）を実施する。また、当該医療機関からの検体提供が義務付けられている病原体検査について、引き続き検体提出の目標数を定め、病原体情報収集体制の強化を図っている。

（2）事業内容

・保健環境研究所において、毎週県指定の5医療機関から提出される急性呼吸器感染症の患者検体の遺伝子検査（行政検査）を実施し、新型コロナウイルスが検出された検体（最大20検体/月）のゲノム解析を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 1 / 2 県 1 / 2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	508	検体搬送に係る出張旅費
消耗品費	8,278	検査試薬費、検査・検体採取に係る消耗品費
燃料費	243	検体搬送に係る公用車燃料費
役務費	1,152	検体郵送費
委託料	8,718	感染性廃棄物処分費
使用料	74	検体搬送に係る高速道路使用料
合計	18,973	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

令和3年2月5日（令和5年4月27日一部改正）付け健感発0205第4号 厚生労働省健康局結核感染症課長通知「新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査におけるゲノム解析及び変異株PCR検査について（要請）」

(2) 国・他県の状況

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく調査

(3) 事業主体及びその妥当性

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく調査として、国立感染症研究所を中心として、全国の都道府県や保健所設置市等の地方衛生研究所で実施されている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 新型コロナウイルス感染症の新たな変異株の発生動向を監視できる検査体制を維持し、必要に応じて正確かつ速やかなPCR検査を実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	
					達成率	
①ゲノム解析	/	1,476件	4,050件	240件	240件	615%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	令和4年度に新型コロナウイルス感染症に対する行政検査（PCR検査）を120,604件（外部検査機関へ委託した分を含む）、ゲノム解析は、1,948件実施した。 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	令和5年度に新型コロナウイルス感染症に対する行政検査（PCR検査）を250件（外部検査機関へ委託した分を含む）、ゲノム解析は、2,608件実施した。 指標① 目標：3,400件 実績：2,608件 達成率：76.7%
令和6年度	令和6年度に新型コロナウイルス感染症に対する行政検査（PCR検査）及びゲノム解析を1,476件実施した。 ※令和5年4月27日に、ゲノム解析の実施率を都道府県ごとに100件／週程度とする目安が国から示され、岐阜県においても可能な範囲でゲノム解析を実施していたが、令和6年3月19日から140件／月程度へ目安が変更となり、令和6年11月1日から20件／月程度へ検体数の目安が変更となった。 指標① 目標：5,200件 実績：1,476件 達成率：28.4%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 2	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく調査であり、感染症の流行状況を把握し、まん延防止対策を行う上で、重要な調査である。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	新型コロナウイルス感染症の検査を、地方衛生研究所が実施するため、柔軟に検査を実施することができ、迅速に結果を還元することが可能である。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 1	令和3年度に保健環境研究所に次世代シーケンサーを導入し、変異株の検査体制を整備し、変異株の発生動向を把握することが出来ている。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の変異株を継続的に監視し、必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内の感染状況の分析や国の対策などを把握し、必要な対策を柔軟かつ迅速に実施していく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	